

### ③ 記録しよう

やっていることを分かるように「できたかなカード」に記録します。

※できた=3点、まあできた=2点、あまりできなかった=1点

【1月】		?	?	?	計
できたかなカード		10	20	31	
名前 環境博士		日	日	日	
1	余った紙はメモ紙に使うなど、紙を大切に使いました。	3	2	3	8
2	再生紙で作ったノートなどを使いました。	3	3	3	9
3	出たごみは分別し、リサイクルしました。	2	2	3	7
4	給食は残さないように食べました。	1	2	1	4
5	どうしても余った給食の食べ残しは、たい肥にしました。	3	3	3	9
6	歯みがきのときなど、水を出しっぱなしにしませんでした。	2	2	1	5
7	掃除のときも水を大切に使いました。	2	3	1	6
8	照明や使わない電気のスイッチはこまめに切りました。	3	3	3	9
9	机や棚、かばんなど自分のものはきちんと整理しました。	2	1	2	5
10	ごみが落ちていたら拾うなど、学校をきれいにしました。	2	2	1	5
11	お家でも環境にやさしいことをしました。 (お家でのISOカードを使って)	2	3	3	8
合計					



【目標どおりやれたのかを記録】

### ④ 審査を受けます



【水俣では、年に1回市役所の人が来て審査をしています】

### ⑤ 認定されます



### ⑥ 見直しをしよう

認定された後は、それに満足しないで、記録を見てあまりやれなかったところを改善したり、審査で指摘を受けたことをもとにして、さらに上のステップを目指すための「見直し」を1年に1回は行います。

目標や、どう行動したらよりうまい環境づくりができるか、また、記録のとり方についても、もれがなく、簡単に記録ができたのかを見直すと、さらにいい学校版環境ISOができあがります。